

日本磁気科学会

有機・バイオ分科会研究会

2025 年度の第 36 回研究会(有機・バイオ分科会主催)を下記の通り開催いたします。参加費無料、対面・オンラインのハイブリッド開催の予定です。

記

主催:日本磁気科学会 有機・バイオ分科会主催

日時:2025 年 9 月 19 日 (金) 13:50 ~ 16:40

参加費:無料

場所:室蘭工業大学 教育・研究棟 1 号館 A324 会議室

Zoom ID は別途お知らせします。

「交差点としての電磁界シミュレーション」

電磁界シミュレーションは、その解析手法の発展と計算機能力の向上に伴い、現在ではアンテナの設計・評価、電磁波の伝搬・散乱解析、モーターや変圧器などの磁気回路を持つ機器の設計・最適化など、多岐にわたる分野で活用されています。皆様の中には、商用のシミュレーションソフトウェアを活用されている方もいらっしゃると思いますが、より高度で専門的な、あるいは特定の研究課題に最適化されたシミュレーション環境を適切に構築しようとする場合、商用のソフトウェアだけでは限界に直面することが少なくありません。本会を通じて、ご自身の研究に真に合ったシミュレーション環境の構築に役立つヒントを得るとともに、知見を共有することで、新たな発見やブレークスルーが生まれるきっかけとなれば幸いです。今回は、当該分野を長年にわたりご牽引されてきた先生方をお招きし、お話を頂く機会を得ました。奮ってのご参加と活発なご議論をお願いいたします。

13:50-14:00 世話人挨拶

14:00-15:00 「電磁界解析による最適設計と機械学習の応用」

五十嵐 一 (北海道大学 D-RED (データ駆動型融合研究創発拠点))

15:00-16:00 「FDTD 法およびモーメント法を用いたキラル物質の光散乱解析」

川口 秀樹 (室蘭工業大学 大学院工学研究科)

16:00-16:40 「磁気科学から見たシミュレーションの必要性」

浜崎 亜富 (信州大学 理学部)

連絡先

▪ 有機・バイオ分科会

世話人:武内 裕香 (室蘭工業大学)

E-mail: yuka0122@muroran-it.ac.jp